

続・子育て再考

平成19年8月20日発行の「広報もろやま」では、児童虐待を取り上げ、子育てについて考える特集記事を掲載しました。当時、子育て中の人からご意見をいただくなど、たいへん反響があった特集記事でした。

あれから5年。子育ての環境や子育て中のお母さんの悩みは、どう変わったのでしょうか。今回、広報もろやまでは、5年の歳月を経た今の子育ての現状を、改めて調べてみたいと思います。

子育て再考

前回の内容のあらすじ

子どもの虐待を考える

■虐待のメカニズム

児童虐待は、特別な親が行うものではなく、養育者の要因、子どもの要因、家庭の状況、社会環境の要因など様ざまな要因が重なり合い起こされるものであり、誰にでも起こりうることなのです。

■虐待を疑うとき

虐待は、親がどのような行動をとったときに、疑われるのでしょうか。

◎虐待の4つの類型

1 身体的虐待

2 精神的虐待

3 性的虐待

4 ネグレクト（消極的虐待）

◎虐待が子どもに及ぼす影響

虐待を受けている子どもにはどのような影響があるのでしょうか。

1 身体的障害

2 知的発達・学習の遅れ

3 問題・逸脱行動

・攻撃性の学習・感情の不連

・続性・挑発的態度・偽成熟性

■虐待の予防・解決にむけて

虐待の予防・解決のためには、市町村で行っている子育て支援に加え、近所の人や地域の関わりが大きな鍵を握っています。虐待の解決は、児童相談所などの支援者と親とが一緒に考え、問題解決の方法を探していくことから始まります。

地域の家庭を見守る

あなたがい眼差し

主任児童委員は、子育てのよ

き先輩にして、地域の子どもを見守る専門家です。どんな小さなことでも良いので、子育てに不安を感じたら、相談をしてください。

活用しよう！子育てサポート

毛呂山町では、子育てを応援するために様々なサポートを用意しています。

- ・一時保育
- ・学童保育
- ・児童館
- ・子育てネットワーク
- ・保健センター

お母さんたちを

追いつめるもの

お母さんたちは、目々何に悩み葛藤しているのか、そう感じさせる背景は何なのか。子育てをする側の視点から、子育てについて考えてみました。

お母さんたちは、皆いいお母さんになろうと思っています。しかし、実際に子育てに携わるようになると「完璧なお母さんなんていない」ことに気付くのです。

子育て中のお母さんは、子どもがわがままをいうときやお父さんの育児への協力不足のときにストレスを感じるそうです。

また、育児への責任をひとり背負っていると感じるときには、孤独感に落ちるといいます。

そんなお母さんたちが口を揃えて言うことが「がんばっていることを認めてほしい」。お父さんや近所の人などに頑張っていることを認めてもらえるだけでも、安心できるそうです。

お母さんたちは子育てに追われ、時間を持てなかつたりすると、心にもゆとりがもてなくなるといいます。子育て支援は、子どもだけをターゲットにするのではなく、お母さんを助けることのほうが大切なのかもしれません。

お母さんと子どもとの間で愛情がしっかりと伝わるには、お父さんや家族、周囲の人の力が必ず必要不可欠なようです。

石井家の楽しい子育て

仕掛け人はお父さん

子育てに率先して取り組んでいるお父さん、石井さんを取材しました。石井さんは、子どもたちと楽しむためのアイデアは、常に自分で考えているといいます。また、土日には、家族みんなで出かけるなど、工夫をして子育てを楽しんでいるという話でした。





日にち 7月9日
場所 東公民館子育て支援室

子育て中のママたちの本音に^{せま}迫る

あれから5年—。

現在、子育て真っ最中のお母さんたちは、何を思っているのでしょうか。

何に悩んでいるのでしょうか。

今回は、子育て支援室におじゃまして、実際に子育てをしているお母さんたちの生の声を聞かせてもらいました。

齊藤 お母さんになる前には、優しいお母さんになりたいと思ってたんですけど、実際に育てしていると、怒ってばかりで、結局優しいお母さんになれてないんですね。

川崎 いろいろなお母さんを見ていて、怒っているお母さんを見たりしたとき、こんなふうにはならないぞって思っていたけど、実際にはなっちゃって—。

遠藤 でも、子育てって、実際に子どもをもってはじめて、分からないことがいっぱいあるんだって分かるよね。

上村 具体的には、子どもに対してどんなときに怒りたくなってしまうんですか？

齊藤 しょっちゅうです(笑) 例えば、しちゃだめだよって言っても、同じ事をやられると、何で? って思いますね。

遠藤 言ったことを聞いている



支援室に来て、皆同じなんだな、自分だけじゃないんだって気付くことができました

齊藤ひとみさん

明徳^{あきのり}くん(2歳8か月)

ようで、意外と聞いていないことって多いんですよ。そんな時は、やっぱりイライラってしちゃいますね。

川崎 出掛ける際、時間がないときに限ってぐずぐずされると、もーってなっちゃいますね。私の気持ちに余裕があれば怒ってなかったんでしょうけど。

齊藤 あれもしなきゃいけない、これもしなきゃいけない。子どものもともあるし、自分もやりたいことがある。そういうときって心に余裕がなくなりますね。

上村 子育て中の悩みについて、「私はこれで助けられた」ってエピソードはありますか？

齊藤 やっぱり、ここ(子育て支援室)の存在が大きかったですね。この子(明徳くん)が生後4か月過ぎたころに初めて来たんですが、ここでの

続・子育て再考

ろいろな人と出会ったことで、救われたことはありますよ。話してみても、皆同じなんだな、自分だけじゃないんだって気付くことができました。ここがなかったら、こういう同世代の人たちと知り合えなかっただろうし、本当によかったと思っています。

川崎 こうやって、出掛けられる所が、皆にあればいいんでしようけどね。

遠藤 私もこういう所があるって聞いたとき、すぐに来ました。やっぱり話せると全然違いますね。皆、同じなんだなって。あと、夫のお母さんに「子育てでぐるぐるさま」って言われるとほっとするんですよ。

一同 そんなふうに出てくるとつれいよね。

遠藤 言葉って大事だなんてすごく思いますよね。

上村 ちょっとしたひとりで助



子育ては、していくうちに色いろなことが分かってくるんだなって感じました

川崎 淳子さん

柚希ちゃん（1歳9か月）

けられることってありますよね。ちなみに皆さんの家では、お父さんは子育てに参加してくださっていますか？

遠藤 平日は無理ですね。でも日曜日は子どもと遊んでくれますよ。

上村 お仕事によって時間はなかなかとれなくて、参加したくてもできないお父さんもいるんですよけどね。

遠藤 それでも、私はやってくれていると感じていますし、結構助かっていますね。

齊藤 うちも、かなり遊んでく

れますよ。平日も帰りが意外と早いので、子どもにパパと遊んで言っていると、よく遊んでくれてますね。買い物にも連れて行ってくれたりとかしますんで、だいぶ自分ひとりの時間がつくれますね。

上村 それって助かりますよね。

齊藤 いつもいつも子ども二人きりだと、どうしても疲れちゃうんですよ。

上村 皆さん自身も子育て真っ最中なんですけれども、これから出産して、子育てする人たちへ何かアドバイスがあったらお願いします。

川崎 子育てをするよう

になって、子育てを始める前と現在を比べると、考え方がだんだん変わってくるのがわかるんですよ。始めは、小さいことが気になってすぐにイライラしてい

たんですが、次第に細かいところがあまり気にならなくなってきた、子育ては、していくうちに色いろなことが分かってくるんだなって感じました。

齊藤 同じ境遇の人と色いろ話をしたり、色いろ言い合ったり、情報交換みたいなことをした方がいいと思います。やっぱり自分ひとりで考え込まない方が絶対いいと思います。

上村 そのためには子育て支援室のような施設を多くの人に利用してもらいたいですね。

遠藤 上の子が、祖父母や周りの人といった皆に育ててもらった感じなんです。その経験から、子育ては絶対に一人でしてはだめだと思います。一人で抱え込まないで、皆で子育てをしたほうが、子どものためでもあるし、自分のためでもあるんですよ。そのほうが安心して、子育てができると思います。



皆で子育てをしたほうが、子どものためでもあるし、自分のためでもあるんですよ

遠藤 あゆみさん

優真くん（1歳4か月）



かみむらふみこ
間き手 上村文子さん
(子育て支援室支援員)

“理解”と“外出”がキーワード

前回の特集記事から5年。子育て中のお母さんの悩みは今も変わっていないようです。

「よい子育てとは何だろう。」「何でうちの子は私の言うことを聞いてくれないだろう。」お母さんたちは、子どもを育てるなかで日々様ざまな悩みを抱えています。

お母さんたちが、悩みから解放されるにはどうしたらいいのか。
——育児を応援する側の視点から、育児について考えます。



川角学童保育所

お 母さんたちが、悩みから解放されるためには、いったい何が必要なのでしょう。ここでは、泉野学童保育所で指導員をしている小山美智子さんにお話を聞きました。「学童保育所にお子さんを預けているお母さんは、皆さん仕事をしています。子育てをしながら、仕事をするのは、本当に大変なんです」と現状を話してくれました。

仕

事をしながら、一生懸命に子育てをするお母さんなど、これまで多くのお母さんたちと接してきた小山さんは、子育ての悩みを少しでも癒す鍵となるのは、お父さんやご両親、また近所の人など、周囲の

様さ

まな人の「理解」と、できる限り「外出」をして、友だちなどと話すことが必要であると教えてくれました。

ま

ず、子育てに必要

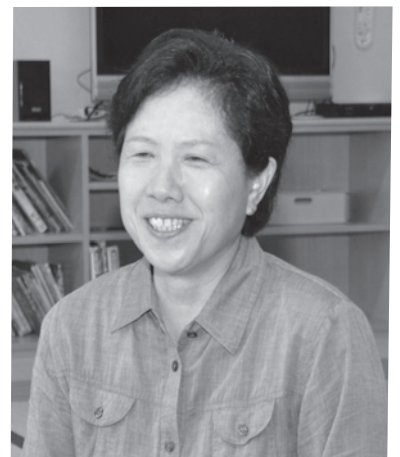
なのがご主人の

理解だといいます。「お父さんたちは、普段仕事で忙しいでしょうが、無理のない範囲で、ぜひお子さんと遊んであげてほしいと思います。また、日ごろ子育てに奮闘中のお母さんに対しては、聞いてあげるだけでいいので、できるだけお母さんの話に耳を傾けてあげてください」と話してくれました。

次

に、家に自分と子どもだけ

でこもってしまうことは、避けなくてはいいけないと小山さんはいいいます。お母さんと子どもだけで家にこもってしまうとお互いにストレスがたまりやすくなってしまうそうです。それを回避するには、お母さんが子どもと一緒に外に出ることができるといえるそうです。そんな人に対して



小山美智子さん

・泉野学童保育所指導員
・毛呂山町次世代育成支援対策行動計画策定委員

は、町の子育て支援をする各施設の活用を勧められました。保健センター、子育て支援室、児童館、学童保育所などがその対象施設です。「子どもたちの幸せは、お母さんの笑顔からです。一人で悩まずに外へ出て、人と話をしてください。同じお子さんを持つお母さんと話をしてください。きっと悩んでいるのが自分だけではないのだと気付くことができます」と小山さんはいいいます。

「子

育てに正解はないので

す。周囲の人と話すなかで、これでよかったのだと自信をもったり、思い違いに気付いて気が楽になったりします。そんな一生懸命な姿を子どもに見せることが、もしかしたら一番の子育てにつながるのかもしれないですね」と優しく語ってくれました。

続・子育て再考

パパの底力を発揮しよう！



落合 和範さん
 萌衣ちゃん（左）
 彩衣ちゃん（手前）

子育ては、自分と子どもの貴重な時間

子育ては、今しかできない子どもと自分の貴重な時間だと思っています。実際に携わってみると色いろな発見があり楽しいものですよ。できるのなら子育てに携わった方がいいと思います。

父親クラブは毎回楽しみにしています

父親クラブには、毎回参加しています。家でできないことを企画してくれるので、娘ともども楽しみにしています。普段はあまり子育てに参加できないので、こういう企画は助かりますね。



荒金 茂樹さん
 倅知ちゃん



畑中 智さん
 奏楽くん

必ずお風呂は、一緒に入っています

家は男の子なので、仕事から帰ったら、よくランニングやサッカーを一緒にしています。また、必ずお風呂には、一緒に入るようにしています。そこで学校の話とか勉強とかするんですよ。

行事の手伝いは、お勧めします

父親クラブへの参加も面白いのですが、幼稚園の行事を手伝うと面白いですよ。多くのお父さんと知り合うことができますし、運動会などは間近で子どもたちを見ることができるといいですね。これはお勧めしますね。



齋藤 隆さん
 依緒合ちゃん（左）
 勇磨くん（右）
 晶斗くん（手前）



児童館「父親クラブ～流しそうめんを食べよう～」

パパの協力が必須です！

子育ては、お母さんひとりの力ではあるものではありません。周りの人の協力が必要です。そんなお母さんの一番身近にいるのがお父さんです。お父さんが子育てに協力してくれるのとしてくれないのでは、お母さんにかかる負担は全然違ってきます。しかし、お父さんも毎日の仕事で疲れています。休日ぐらゐは身体をゆっくり休めたいと思うのも当然でしょう。だから、

埼玉県イクメンへの道

埼玉県では、育児を志すお父

さん（イクメン）の増加を促すために「イクメンの素」という冊子を作成しました。「イクメンの素」は、育児初心者のお父さんを応援するための、誰にでも取り組める育児のヒント集です。できることからやってみませんか。この冊子は、県ホームページからダウンロードできますので、ぜひ活用してください。
<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/ikumen/>





ぴよんぴよん広場（児童館）

ほっとできる場所が きっと見つかります

がんばりすぎて、自分を追い込んでいませんか？
子育てをつらく感じていませんか？
ストレスがたまる前に、息抜きをしてください。
毛呂山町には、子育てを応援する様々な施設があります。

町の施設を頼ってください！

保健センターでは、妊娠してからの母親教室に始まり、各種健診や家庭訪問などで子育て中の家庭の支援を行っています。まさに子育て支援のスタート施設だといえます。

子育て中のお母さんは、いつも頑張っています。ずっとお子さんと一緒にいると疲れやストレスがたまってしまうことも少なくありません。本来は、町内各施設の子育て支援事業を利用していただければ、一番よいのですが、なかなか外に出られないという人もいます。保健センターでは、お子さんの健康や育児に関する電話相談も行っています。些細なことでも結構です。子育てがつらくなる前に電話をしてきてください。私たち保健師は、子育て中のお母さんを応援しています。あなたの声を聞かせてください。



保健センター
山口保健師

INTERVIEW



諏江祥子さん
あおい 葵ちゃん
親子

いい気分転換になります

いろいろな遊びが学べるだけでなく、参加して友だちができたことがよかったですね。家の中にじっとしていると、どこかで息抜きをしないとつらいですよ。つくしんぼサロンは、いい気分転換にもなりますよ。

◎保健センター 困ったときの頼もしい相談先

健診を通じて、子どもの成長を見守ります。困ったことがあった場合は、電話などで即相談に応じる子育てのパートナーです。

問合せ 保健センター ☎ (294) 5511

事業名	対象	内容
母親教室	初妊婦とその家族	妊娠、出産、育児に関する学習、参加者同士の交流
家庭訪問	生後4か月以内	保健師または助産師がお宅を訪問します
育児学級	0歳～就学前	乳幼児を持つ母親の相談・離乳食指導
つくしんぼサロン	生後3か月～1歳3か月（第1子）	子どもと遊べる簡単な遊びの紹介、お母さん同士の交流（お父さんも歓迎）
電話相談	妊娠中から	保健師による、健康や育児に関する相談

◎学童保育 放課後の子どもたちが安心して過ごせる場所

下校時刻になっても家に保護者が不在で、保育に欠ける児童が集まり、遊んだり、勉強をしたりして過ごします。指導員のもとで、安心して過ごすことができます。

■学童保育所■

施設名	住所・電話	定員	対象年齢	利用時間・料金
岩井学童保育所	岩井西 4-5-6 (295)1082	60人	小1～小3 ※小4以上 は要相談	平日 13:00～18:00 土曜日 8:00～18:00 (延長保育 18:30まで) ※日曜・祝日・年末年始は休所日です 料金 11,000円～/月 (第2子以降は8,000円/月)
川角学童保育所	川角 309 (295)5084	60人		
泉野学童保育所	岩井 729-2 (295)5632	70人		

※入所などに関する詳細は、直接各学童保育所までお問い合わせください。



つくしんぼサロン（保健センター）

続・子育て再考

◎一時預かり 少しの間、子どもを見てほしい

希望するときだけ、一時的に保育をお願いすることができるサービスです。希望する保育園、保育室に直接申し込んでください。

■実施保育園■

保育園名	住所・電話	利用時間・料金
養光保育園	毛呂本郷 687 (276)1473	平日・土曜日 8:00～18:00 1,500～3,200円/1日
あけぼの 幼児園	長瀬 398-5 (295)2340	平日 9:00～17:00 500円/1時間(昼食代含)
毛呂山みどり 保育園	葛貫 799-12 (294)1115	平日・土曜 7:30～18:30 500円/1時間(昼食代別)
認定こども園 ながせ保育園	前久保 497 (294)2515	平日・土曜 7:00～19:00 500円/1時間(昼食代別)
認定こども園 ときわぎ保育園	平山 2-11-1 (294)4992	平日・土曜 7:30～19:30 500円/1時間(昼食代別)

■町指定・家庭保育室■

保育室名	住所・電話	利用時間・料金
こひつじ 愛児園	岩井東 2-27-2 (295)1878	6:00～20:00(夜間保育有) AM1,400円、PM1,100円
A T I 学園	南台 5-26-36 (294)1987	7:00～20:00 ※料金は直接お問い合わせください

◎児童館 楽しいこといっぱい！ 皆が集まる子どもの遊び場

子どもが自由に遊ぶための部屋、道具がそろっており、遊びの指導をする指導員もいるので、はじめて来ても戸惑うことはありません。

問合せ 児童館 ☎ (295) 4111

事業名	日にち	時間	対象	内容
ぴよんぴよん 広場	水曜日 (不定期)	10:30 ～11:30	2歳前後の幼児 と保護者	体操、工作、 ふれあいあそびなど
幼児クラブ	火・木曜日 (不定期)	10:15 ～11:30	3、4歳児と母 親	体操、お絵かき、 工作ほか
父親クラブ	土曜日 (不定期)	9:30～	幼児、小学生と 父親	工作、料理、父親との ふれあいあそび

INTERVIEW



阿部恵子さん
悠希くん親子

ママ友がたくさんできますよ！

子育てサロンに来ればいつでもお友だちやおもちゃがいっぱいです。ここでは、子育ての情報交換ができるだけでなく、ママのお友だちもたくさんできます。一度来てみてください。

◎子育てサロン 親子でお友だちづくりや参加者との情報交換を

主任児童委員やボランティアの人たちと楽しく遊んで、親子で友だちを作るサロンです。無料で参加できますので、お気軽にご参加ください。

問合せ 社会福祉協議会 ☎ (295) 3111

事業名	日にち	時間	場所	内容
子育てサロン	毎月第2木曜日	10:00～15:00	東公民館 ウイズもろやま (福祉会館)	おしゃべり、子ども の遊びの場
	毎月第4木曜日			

◎子育てネットワーク 情報交換や交流の輪を広げます

子育てに携わる団体・関係機関にネットワークを作り、子育て中のお母さん、お父さんの支援を行っています。

問合せ 社会福祉協議会 ☎ (295) 3111

事業名	開催	内容
おっぱいタイム	年1回	母乳育児について助産師を講師に招き情報交換 やアドバイスを実施
もろやま子育てネット ワーク情報	年4回	情報紙発行。子育て中のママたちがつくる子育て 関連の情報を提供

◎子育て支援室 遊びと交流の場を提供します

子育て中の親子に遊びや交流の場を提供しています。子育て中の人ならどなたでも無料でご利用できます。

開設場所	住所・電話	開設時間・利用方法
東公民館 保育室ほか	川角 298-1 (294)1800	原則として毎週月・水・金曜日 10:00～15:00 ※12:00～13:00は昼休み 予約不要、直接お越しください

◎子育て支援センター 子育てをお手伝い

子育て支援室同様に子育て中の親子に遊びや交流の場を提供し、子育てのお手伝いをします。こちらも無料でご利用できます。

開設場所	住所・電話	開設時間・利用方法
毛呂山 みどり 保育園	葛貫 799-12 (294)1115	原則として毎週月曜日～金曜日 10:00～15:00 予約不要、直接お越しください

INTERVIEW



野原智美さん
心美ちゃん親子

「今日は何をするのかな？」と
毎回楽しみにしてるんです

近所にあまり友だちがいなかったの、ぴよんぴよん広場に参加をしてみて、子どもも私もたくさん友だちができました。体操や工作などととても楽しくて、色いろなことを教わりました。

話してください。あなたの思いを！

ひとりで悩んでいるお母さん。

ひとりで悩む必要はありません。

あなたの思いを分かってくれる人は
きつといます。

ひとりで悩んでいるお母さん。

ひとりで悩まないでください。

あなたの心に寄り添ってくれる人は
きつといます。



子育てサロン（福祉会館）

現代は、携帯電話などが発達し、人と人が顔を見て付き合う機会が減っています。それに伴い、コミュニケーション能力の低下もささやかれています。だからこそ、心と心の付き合いが重要な時代だといえます。

核家族が進み、お母さんと子どもだけが過ごす時間が増えています。お母さんたちは、子どもと一緒にいても常に心のどこかに不安や孤独を抱えています。子育て支援施設に出かけた

くても、なかなか出て行けないという人が増えています。

外に出て行けないとストレスがたまりやすくなり、不満やイライラの原因となります。まずは、ママ友を作ることをお勧めします。ママ友とちょっとしたお話ができるだけでもストレスの解消につながります。子育てサロンや子育て支援室は、お母さんが楽しく遊ぶだけでなく、ママ友作りの場でもあります。少し肩の力を抜いて私たちとお話をしませんか？ 一人でも多くのお母さんが、子育て支援施設

よく子どもは宝だといわれませんが、子どもの時期の子育てもある意味宝の時期であるといえます。子育て中のお母さんから「自分の子育てが正しいのかかわからない」という質問を受けますが、その答えは、決してひとつではないと思います。子ども一人ひとりに個性があるように、子育てにもこうあるべきだといふものはないと考えます。子どもと正面から向き合い、その時の最善の方法を見つけながら、育てていきたいですね。子どもはいろいろな物に興味

津々しんしんです。お母さんが興味を持つものには、子どもも興味を示します。お母さんには、ぜひ子どもと一緒に楽しんで楽しむことを探してほしいと思います。最初からお母さんという人は、誰もいません。子どもと一緒に遊び、喜び、泣き、ときには子どもに教えてもらいながら、だんだんとお母さんになっていくものだと思います。

子育ての時期を私なりに振り返ってみると、夢中で過ごしてきましたが、今では、とても大切な時期であったと感じていま



主任児童委員
皆川松美さん

す。思うようにいかななくて悩んだり、子育ては何かとたいへんではありますが、あせらずに育てていきましょう。私たち主任児童委員は、少しでもそのお手伝いをさせていただきたいと考えています。月2回ではありますが、ぜひ子育てサロンに足を運んでいただきたいと思います。



主任児童委員
橋田幸子さん

続・子育て再考

子育てに悩みはつきものです。
しかし、子育てで悩んでいる人は、
あなたひとりではないのも事実です。
皆、それぞれに悩みをかかえ、
子どもと向き合っています。

子育てに正解はありません。
子どもの成長とともに親も成長するのです。
子どもが1歳なら、お母さんも1歳！
子どもと一緒にいろいろな経験をしましょう。
お母さんの笑顔は、子どもの笑顔！

子育て支援に関するお問い合わせ
役場子ども課子育て支援係 ☎
295-2112 内線139

今回、撮影にご協力いただいた鈴木陽子さんは、4児のママ。長女の陽穂ちゃん（9歳）、長男の宣孝くん（6歳）、次女の穂乃花ちゃん（3歳）、三女の紗穂理ちゃん（9か月）の4人の子どもがいます。笑顔がとても素敵な4兄弟でした。